

水生生物で知る川の健康

川の素顔・命の水

平成25年度
調査

水生生物調査結果 概要

平成26年 2月

国土交通省近畿地方整備局
近畿技術事務所



水生生物調査とは

はじめに



ヒラタドロムシ類

川の中には色々な種類の生き物がたくさん棲んでいます。これらの生き物のことを「水生生物」といいます。

水生生物の中でも、特にトビケラの仲間やサワガニなど川の底に棲んでいる生き物は、その場所の「水のきれいさ」によって種類が違ってきます。



このため、その川に棲んでいる生き物を調べることで、「水のきれいさ」を知ることができます。



ナガレトビケラ類



ヒラタカゲロウ類

水生生物調査とは

調査の意義

- ① この調査は、特別な道具がなくてもできるため、小学生以上であれば、**だれでも簡単に参加**することができます。
- ② みなさんの参加によって**約30年間続いている調査**です。調査の結果を知ることで、その川の水が、**昔に比べてきれいになってきているのか、汚くなってきているのか**を知ることができます。
- ③ 調査に参加することで、**川の生き物や水のきれいさを知る**とともに、**川に親しみ、川を大切に**するきっかけにもなります。
- ④ 河川を活かした環境教育を推進している活動の一つであり、**環境学習**や**総合的な学習の場**として活用することができます。
- ⑤ みなさんの参加によって得られた結果は、毎年全国データでとりまとめるとともに、近畿では冊子として発行しています。



2013年度版の冊子

水生生物調査とは

水生生物調査の方法

- ① 事前に、服装・持ち物の準備と安全確認を十分します。
- ② 川でタモ網などを用いて、**水生生物を採取**します。
- ③ 採取した生き物の中から、そのうち29種類の**指標生物**(「水のきれいさ」の目安となる生き物)を見つけて記録します。
- ④ 指標生物は、種類に応じて「きれい」、「ややきれい」、「きたない」、「とてもきたない」の4つの水質階級に分かれています。

指標生物の出現状況によって、**その地点の川の水のきれいさを知ることが**できます。

 きれいな水	 カワゲラ類	 ナガレトビケラ類	 ヤマトビケラ類	 ヒラタカゲロウ類	 ヘビトンボ	 ブユ類	 アミカ類	 ナミウズムシ	 サワガニ	 ヨコエビ類
 ややきれいな水	 コガタシマトビケラ類	 オオシマトビケラ	 ヒラタドROMシ類	 ゲンジポタル	 コオニヤンマ	 カワニナ類	 ヤマトシジミ	 イシマキガイ		
 きたない水	 ミズムシ	 ミズカマキリ	 シマイシビル	 タニシ類	 イソコツブムシ類	 ニホンドロソコエビ				
 とてもきたない水	 アメリカザリガニ	 ユスリカ類	 チョウバエ類	 エラミミズ	 サカマキガイ					

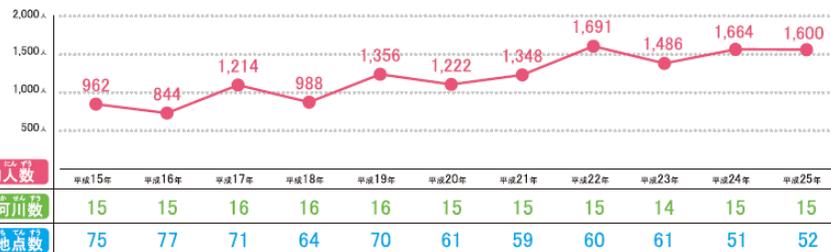
近畿全体の調査結果

平成25年の参加人数

平成25年調査では、**1,600人**の参加がありました。

小・中学校をはじめ流域住民の参加・協力のもと、**昭和59年度から継続的に調査を実施**しています。

河川環境や水質に関する理解を深める場として定着し親しまれ、いくつかの小・中学校では、**総合学習の場として活用**されています。



※平成17～20年:調査対象に草津川を追加、平成20年:紀の川は天候不良のため中止、平成23年:熊野川は天候不良のため中止

河川名	参加人数	調査した日
熊野川	計7人	10/12
紀の川	計46人	9/13, 11/21
大和川	計348人	10/1, 10/8, 10/11, 10/29
猪名川	計264人	7/28
淀川宇治川	計27人	7/26, 9/27, 10/11
木津川	計256人	7/15, 7/29, 7/30, 8/10, 9/26, 10/11
桂川	計40人	8/2, 9/26
瀬田川	計34人	7/20, 8/5
野洲川	計22人	8/6, 10/18
揖保川	計293人	7/18, 8/3, 8/11, 9/30, 10/1, 10/4, 10/8, 10/18
加古川	0人	9/27
円山川	計24人	9/24
由良川	計143人	7/10, 7/11, 7/16, 7/21, 7/23, 9/12, 9/26
北川	計17人	7/31, 8/13
九頭竜川	計79人	7/22

※参加人数は河川ごとに集計しているため、下図の人数とは異なります。

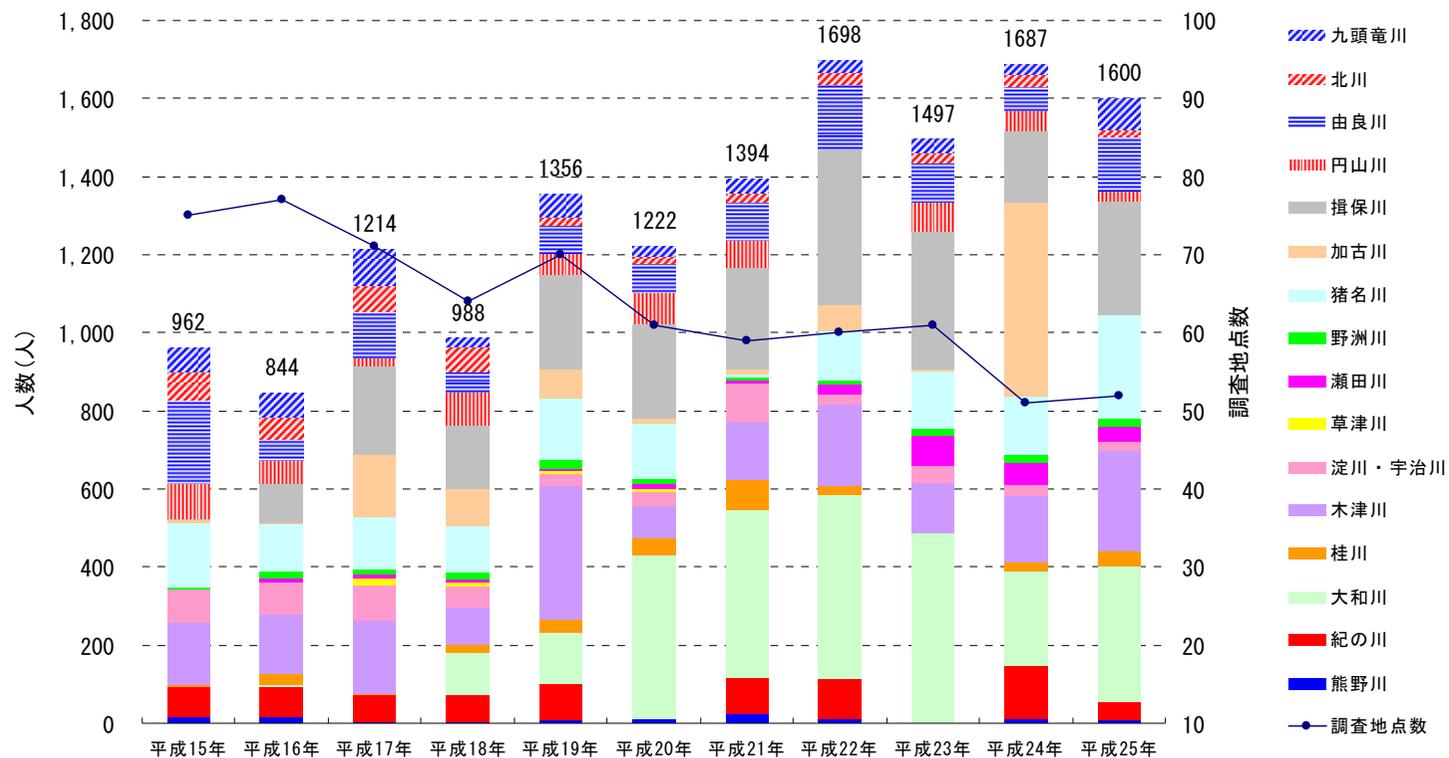
■ 小学校 ■ 中学校 ■ その他

近畿全体の調査結果

調査地点数と参加人数の経年変化

調査地点数は、平成15年の75地点から**減少傾向**にあります。

参加人数は、平成15年の963人から**増加傾向**にあり、**平成22年以降は約1,500人以上が参加**しています。



熊野川



熊野川は、雨の多い紀伊半島を流れる大きな川で、和歌山・奈良・三重の3県にまたがって流れています。豊かな自然に恵まれ、川と海を行き来するハゼなどの魚がたくさんいます。

熊野川

平成25年の調査結果

地点数：1地点

参加者数：7人

参加団体：

- 近畿大学付属新宮高等学校中学校



1地点で調査が実施され、
結果は「1きれいな水」でした

熊野川

指標生物の確認状況

地点名	調査月日	指標生物の出現状況 (見つかった指標生物の欄に○印、うち数の多い(注)2種類に●印をつける。)																													集計				判定 点数の最も高い階級	今年の判定	昨年の判定					
		I										II								III						IV					I	II	III	IV								
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29								点数計	点数計	点数計	点数計	
相野谷橋下流	10/12	○	●	○	○	○				○	●	○																								8	3	0	0	I	I	I

I きれいな水
 II ややきれいな水
 III きたない水
 IV とてもきたない水

確認種

「I きれいな水」の指標生物では、ナガレトビケラ類が多く確認されました。「II ややきれいな水」の指標生物では、コガタシマトビケラ類が多く確認されました。

確認種数

熊野川全体で、「I きれいな水」の指標生物7種類、「II ややきれいな水」の指標生物2種類の合計9種類が確認されました。

熊野川

調査結果の経年変化

地点	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
1 新宮川5.0k	※1984～1996年に調査										
2 相野谷橋(※1)	I	I	I	I	I	I	I	I		I	I
3 熊野大橋	※1993～1995年に調査										
4 丸山橋	※1985～1990年に調査										

I きれいな水 II ややきれいな水 III きたない水 IV とてもきたない水

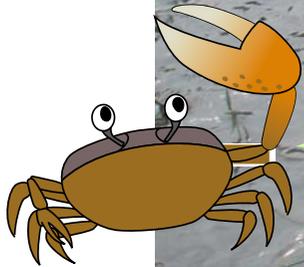
調査地点

これまでに **4 地点** で調査が実施されました。
相野谷橋では、継続的に調査が実施されています。

水のきれいさの経年変化

相野谷橋下流の水のきれいさは、過去10年にわたり「**I きれいな水**」の評価が続いています。

紀の川



紀の川は古くから奈良県・和歌山県の人々の歴史と暮らしを支えてきた川です。
また、紀の川河口の干潟は、多くの生き物たちのすみかになっています。

紀の川

平成25年の調査結果

地点数：2地点
参加者数：46人
参加団体：
□ 高野口小学校



2地点で調査が実施され、
2地点とも「1きれいな水」でした。

紀の川

指標生物の確認状況

地点名	調査月日	指標生物の出現状況 (見つかった指標生物の欄に○印、うち数の多い(注)2種類に●印をつける。)																													集計				判定 点数の最も高い階級	今年の判定	昨年の判定		
		I										II								III						IV					I	II	III	IV					
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29									
		カワゲラ類	ナガレトビケラ類	ヤマトビケラ類	ヒラタカゲロウ類	ヘビトンボ	ブユ類	アミカ類	ナミウズムシ	サワガニ	ヨコエビ類	コガタシマトビケラ類	オオシマトビケラ	ヒラタドROMシ類	ゲンジボタル	コオニヤンマ	カワニナ類	ヤマトシジミ	イシマキガイ	ミズムシ	ミズカマキリ	シマイシビル	タニシ類	イソコツブムシ類	ニホンドロソコエビ	ユスリカ類	チヨウバエ類	エラミミズ	サカマキガイ	アメリカザリガニ	点数計	点数計	点数計	点数計					
九度山橋	9/13	●			●						●		○		○																		4	4	0	0	I	I	I
出世不動明王	11/21	●			○	○				○	●					○																	7	1	0	0	I	I	I

I きれいな水
 II ややきれいな水
 III きたない水
 IV とてもきたない水

確認種

「I きれいな水」の指標生物では、カワゲラ類、ヒラタカゲロウ類、ヨコエビ類が多く確認されました。「II ややきれいな水」の指標生物では、コガタシマトビケラ類が多く確認されました。

確認種数

紀の川全体では、「I きれいな水」の指標生物5種類、「II ややきれいな水」の指標生物4種類の合計9種類が確認された。

紀の川

調査結果の経年変化

地点	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
1 大川橋							II				
2 恋野橋	※1984、1985年に調査										
3 橋本橋	※1998年に調査										
4 岸上橋	※1984、1985年に調査										
5 紀伊丹生川合流点	※1994年に調査										
6 三谷橋	※1984～1991年に調査										
7 麻生津大橋	※1984、1985年に調査										
8 龍門橋	※1984、1985、1989～1992年に調査										
9 竹房橋	※1997年に調査										
10 岩出橋	※1984、1985、1988～1992、1991、1992、1995年に調査										
11 諸井橋	※1988、1989、1994年に調査										
12 貴志橋	※1990、1991年に調査										
13 川辺	※1984、1985年に調査										
14 九度山橋	II	I	II	I	II		II	II	I	I	I
15 井阪橋	※1999、2000年に調査										
16 九度山町河根	※2001年に調査										
17 阪合部橋	※2002年に調査										
18 大関橋	II										
19 観音橋	III	II									
20 口畑橋			I	I	I						
21 出世不動明王							II	I	I	I	I

調査地点

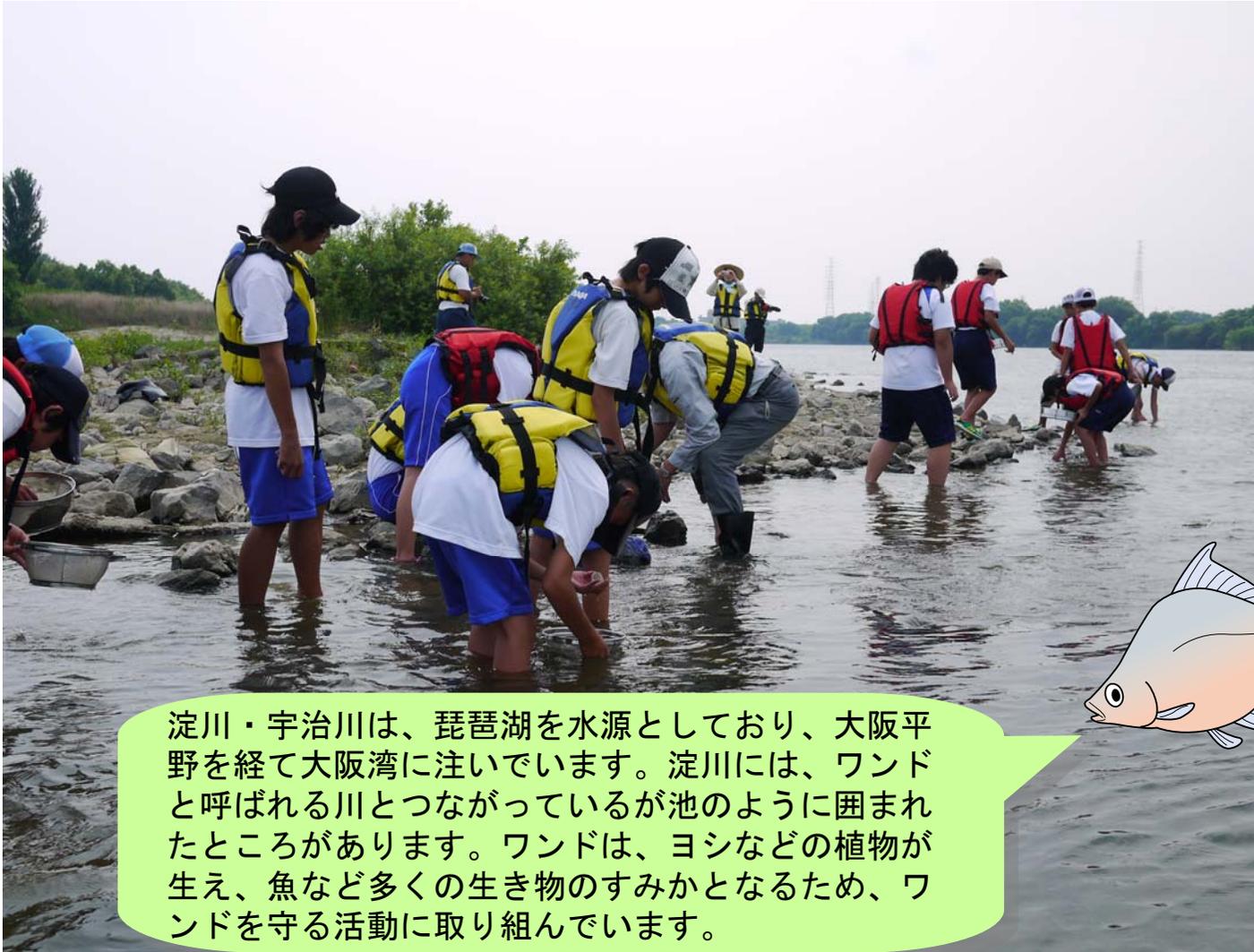
I きれいな水
 II ややきれいな水
 III きたない水
 IV とてもきたない水

これまでに **21** 地点で調査が実施されました。
 九度山橋、出世不動明王では、継続的に調査が実施されています。

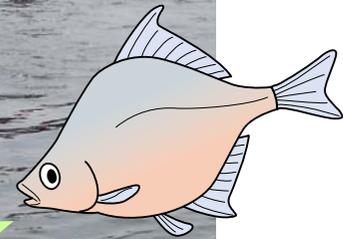
水のきれいさの経年変化

九度山橋、出世不動明王の水のきれいさは、「**I きれいな水**」～「**II ややきれいな水**」と
 なっています。特に最近の3～4年は「**I きれいな水**」の評価が続いています。

淀川・宇治川



淀川・宇治川は、琵琶湖を水源としており、大阪平野を経て大阪湾に注いでいます。淀川には、ワンドと呼ばれる川とつながっているが池のように囲まれたところがあります。ワンドは、ヨシなどの植物が生え、魚など多くの生き物のすみかとなるため、ワンドを守る活動に取り組んでいます。



淀川・宇治川

平成25年の調査結果

地点数：9地点

参加者数：27人

参加団体：

- 大阪市立新北島中学校
- 高槻市立第七中学校
- 大阪市立城陽中学校
- 大阪市立大桐中学校
- 大阪市立文の里中学校



9地点で調査が実施され、「**II**ややきれいな水」が4地点、「**III**きたない水」が1地点でした。

淀川・宇治川

指標生物の確認状況

地点名	調査月日	指標生物の出現状況 (見つかった指標生物の欄に○印、うち数の多い ^(注) 2種類に●印をつける。)																													集計				判定 点数の最も高い階級	今年の判定	昨年の判定		
		I										II								III				IV															
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	I	II	III	IV					
カワゲラ類	ナガレトビケラ類	ヤマトビケラ類	ヒラタカゲロウ類	ヘビトンボ	ブユ類	アミカ類	ナミウズムシ	サワガニ	ヨコエビ類	コガタシマトビケラ類	オオシマトビケラ	ヒラタドロムシ類	ゲンジボタル	コオニヤンマ	カワニナ類	ヤマトシジミ	イシマキガイ	ミズカマキリ	シマイシビル	タニシ類	イソコツブムシ類	ニホンドロンコエビ	ユスリカ類	チヨウバエ類	エラミミズ	サカマキガイ	アメリカザリガニ	点数計	点数計	点数計	点数計								
宇治橋	10/11									○					●		○	○															0	3	2	0	II	II	II
隠元橋	10/11										○			○	○																		0	3	0	0	II	II	II
宇治川御幸橋	10/11									○									○													0	1	1	0	II	II	III	
枚方(穂谷川合流点)	7/26										●	○						○														0	3	1	0	II	II	II	
鳥飼大橋	9/27													○				○									○					0	1	1	1	II	II	II	
城北	9/27								○					○						●							○				1	1	2	1	III	III	III		
柴島水管橋	9/27													○				○								○					0	1	1	1	II	II	III		
淀川大堰下流	9/27																○	○													0	2	0	0	II	II	II		
伝法大橋	9/27															○															0	1	0	0	II	II	II		

確認種

I きれいな水
 II ややきれいな水
 III きたない水
 IV とてもきたない水

宇治川（宇治橋、隠元橋、宇治川御幸橋）では、「II ややきれいな水」の指標生物であるコガタシマトビケラ類、カワニナ類が、淀川（枚方（穂谷川合流点）、鳥飼大橋、城北、柴島水管橋）では「II ややきれいな水」の指標生物であるカワニナ類、「III きたない水」のシマイシビル、「IV とてもきたない水」の指標生物であるサカマキガイが比較的多くの地点で確認された。また、淀川大堰下流（淀川大堰下流、伝法大橋）では、汽水域に生息する指標生物のヤマトシジミ、イシマキガイが確認されている。

確認種数

淀川・宇治川全体では、「I きれいな水」の指標生物 1 種類、「II ややきれいな水」の指標生物 7 種類、「III きたない水」の指標生物 3 種類、「IV とてもきたない水」の指標生物 2 種類の合計 13 種類が確認された。

淀川・宇治川

調査結果の経年変化

地点	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
1 宇治橋	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
2 隠元橋	Ⅱ	Ⅱ							Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
3 観月橋	※1986、1987年に調査										
4 宇治川御幸橋	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ
5 枚方大橋	※2000年に調査										
6 鳥飼大橋	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ
7 豊里大橋	※1986、1987年に調査										
8 城北ワンド(※1)	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ
9 柴島水管橋	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ
10 淀川大堰	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
11 西中島	※1985年に調査										
12 伝法大橋	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
13 枚方大橋(磯島)	※1998、2000、2001年に調査										
14 船橋川河口	※2000年に調査										
15 穂谷川合流点	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
16 十三千瀧(※2)	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ			
17 向島			Ⅱ								
18 東高瀬川合流部				Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ			

調査地点

Ⅰ きれいな水
 Ⅱ ややきれいな水
 Ⅲ きたない水
 Ⅳ とてもきたない水

これまでに **18 地点** で調査が実施されました。
 多くの地点で、継続的に調査が実施されています。

水のきれいさの経年変化

水のきれいさは、**上流**の宇治橋、隠元橋、枚方（穂谷川合流点）や**下流**の淀川大堰下流、伝法大橋では「**Ⅱ ややきれいな水**」が続いています。一方、**中流**の鳥飼大橋、城北、柴島水管橋では、「**Ⅲ きたない水**」の年が多いです。

木津川



木津川は、多くの河川と合流しながら三重県・京都府を流れる川です。川を堰でせき止めているところでは、そこにある魚道をより魚がのぼりやすくなるように検討しています。

木津川

平成25年の調査結果

地点数：6地点

参加者数：256人

参加団体：

- 大阪市立新北島中学校
- 高槻市立第七中学校
- 大阪市立城陽中学校
- 大阪市立大桐中学校
- 上野生涯学習推進会議
- 河川レンジャー



6地点で調査が実施され、「きれいな水」が3地点、「ややきれいな水」が3地点でした。

木津川

調査結果の経年変化

調査地点

これまでに**35地点**で調査が実施されました。

稲広橋、恭仁大橋、玉水橋、木津川御幸橋、新服部橋、新町橋では、継続的に調査が実施されています。

水のきれいさの経年変化

水のきれいさは、**上流域**（稲広橋、新服部橋）は「**I きれいな水**」が、**その他の**恭仁大橋、玉水橋、木津川御幸橋は「**II ややきれいな水**」が続いている。

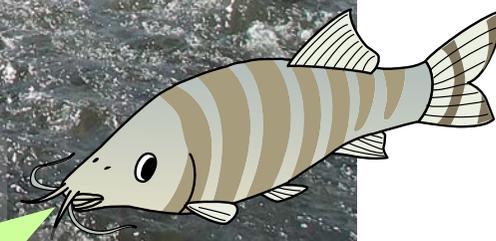
地点	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
1 中垣内橋	※1987～1988年に調査										
2 稲広橋	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
3 阿保橋	※1987～1997年に調査										
4 古郡 潜水橋	※1988年に調査										
5 比土橋	※1987、1989～1997年に調査										
6 大野木橋	※1984～1997年に調査										
7 芝床橋	※1984～1997年に調査										
8 新長田橋	※1984～1995年に調査										
9 新居橋	※1984～1995年に調査										
10 岩倉橋	※1984～1997年に調査										
11 長瀬	※1989～1995年に調査										
12 新夏見橋(※1)	※1986～1995年に調査										
13 高橋	※1986～1995年に調査										
14 黒田大橋	※1994、1999、2000、2002年に調査										
15 名張大橋	※1998年に調査										
16 大屋戸潜水橋	※1988年に調査										
17 薦生橋	※1988年に調査										
18 家野	※1986、1987、1989～1995年に調査										
19 笠置橋	※1985～1987、2001年に調査										
20 恭仁大橋	II	II	II	II	II	II	I	II	II	II	II
21 泉大橋	※1986、1987年に調査										
22 泉大橋下流2km	※1985年に調査										
23 玉水橋	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II
24 岩田	※1985～1987年に調査										
25 木津川御幸橋	II	II	IV	II	II	II	II	II	II	III	I
26 新服部橋	I	II	II	I	I	I	I		I	I	I
27 木の平橋	※1998年に調査										
28 新町橋	II	II	II		I				II		
29 不動川砂防歴史公園	I										
30 大山田				II	II						
31 壬生野					II						
32 三田					II						
33 糸川橋					II						
34 黒田橋							II				
35 依那古橋								II			II

I きれいな水
 II ややきれいな水
 III きたない水
 IV とてもきたない水

桂川



桂川は、観光名所「嵐山」のシンボルである渡月橋や、桜・紅葉の美しさなど、きれいな景色で有名です。



桂川

平成25年の調査結果

地点数：4地点

参加者数：40人

参加団体：

- 大阪府立中野中学校
- 高槻市立第七中学校
- 大阪府立城陽中学校
- 大阪府立加美中学校
- 京都市立嵯峨中学校
- 京都市立西京極中学校



4地点で調査が実施され、
「きれいな水」が2地点、「ややきれいな水」
が1地点、「きたない水」が1地点でした。

桂川

指標生物の確認状況

地点名	調査月日	指標生物の出現状況 (見つかった指標生物の欄に○印、うち数の多い ^(注) 2種類に●印をつける。)																													集計				判定 点数の最も高い階級	今年の判定	昨年の判定				
		I										II								III						IV					I	II	III	IV							
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29								点数計	点数計	点数計	点数計
渡月橋	8/2	○	○		○	○					●	○	○		○	○																			4	6	1	0	II	II	I
西大橋	9/26	○	○									○	○																						2	2	0	0	I	I	I
羽東師橋	9/26	○											○																						1	1	1	0	I	I	II
宮前橋	9/26	○																	○		○														1	0	2	0	III	III	II

I きれいな水 II ややきれいな水 III きたない水 IV とてもきたない水

確認種

「I きれいな水」の指標生物であるカワゲラ類、「II ややきれいな水」の指標生物であるヒラタドロムシ類、「III きたない水」の指標生物であるシマイシビルが比較的多くの地点で確認されています。

確認種数

桂川全体では、「I きれいな水」の指標生物4種類、「II ややきれいな水」の指標生物5種類、「III きたない水」の指標生物2種類の合計11種類が確認されました。

桂川

調査結果の経年変化

地点	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
1 渡月橋	II	II	II	II	II	II	II	II	II	I	II
2 上野橋	※1985～1987年に調査										
3 西大橋	II	II	II	II	II	II	II	II	II	I	I
4 羽束師橋	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	I
5 宮前橋	II	III		II	III						
6 大山崎			II								

I きれいな水 II ややきれいな水 III きたない水 IV とてもきたない水

調査地点

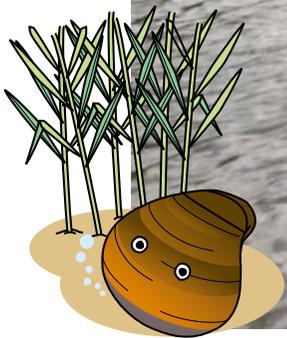
これまでに **6 地点** で調査が実施されました。

渡月橋、西大橋、羽束師橋、宮前橋など多くの地点で、継続的に調査が実施されています。

水のきれいさの経年変化

水のきれいさは、過去「II ややきれいな水」が続いているが、平成24年（2012年）以降は「I きれいな水」の地点がみられています。

瀬田川・野洲川



瀬田川は、琵琶湖から流れる川で、下流にいくと「宇治川」・「淀川」へと名前を変えます。
野洲川は、琵琶湖に注ぐ最も大きな川です。
魚のすみかやヨシが茂った場所をよくするなどの活動に取り組んでいます。

瀬田川・野洲川

平成25年の調査結果

地点数：3地点

参加者数：56人

参加団体：

- NPO法人瀬田川リバプレ隊
- 大石学区自治連合会
- 大石小学校及びPTA
- 大津市大石支所
- 琵琶湖河川レンジャー
- 瀬田北中学校
- 立命館守山中学校
- 守山南中学校



3地点で調査が実施され、「きれいな水」が2地点、「ややきれいな水」が1地点でした。

瀬田川・野洲川

調査結果の経年変化

瀬田川		地点	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
1	石山寺対岸	※1984～1991年に調査											
2	石山小学校前	※1984、1985年に調査											
3	瀬田川洗堰下	※1984～1992年に調査											
4	信楽川・瀬田川合流点	I	I	II	I	II	I	I	I	II	I	I	
5	瀬田川・大石川合流点										I	II	I

野洲川		地点	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
1	野洲川大橋	II	II	III	II	II	I						
2	落差工(※1)									II	II	II	II
3	名神野洲川橋								II				

I きれいな水
 II ややきれいな水
 III きたない水
 IV とてもきたない水

調査地点

瀬田川では、これまでに**5地点**で調査が実施されました。信楽川・瀬田川合流点で、継続的に調査が実施されています。

野洲川では、これまでに**3地点**で調査が実施されました。過去は野洲川大橋で、最近は落差工で継続的に調査が実施されています。

水のきれいさの経年変化

瀬田川の水のきれいさは、主には「**I きれいな水**」が続いています。

野洲川の水のきれいさは、主には「**II ややきれいな水**」が続いています。

大和川



大和川は、奈良盆地から大阪平野を経て大阪湾に注いでいます。今から30～40年前は大変水が汚れていました。地域の人と役所の人などが協力して水をきれいにする活動に取り組んだ結果、最近では川がきれいになってきました。

大和川

平成25年の調査結果

地点数：3地点

参加者数：348人

参加団体：

- 浅香山小学校
- 王子北小学校
- 新堂小学校
- 竹城台東小学校
- 柏原小学校
- 大和川釣り人クラブ



3地点で調査が実施され、
「ややきれいな水」が3地点でした。

大和川

指標生物の確認状況

地点名	調査月日	指標生物の出現状況 (見つかった指標生物の欄に○印、うち数の多い ^(注) 2種類に●印をつける。)																												集計				判定 点数の最も高い階級	今年の判定	昨年の判定							
		I								II								III								IV				I 点数計	II 点数計	III 点数計	IV 点数計										
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28								29						
藤井	10/29																																				0	0	0	0	II	II	II
河内橋	10/1														○																					○	0	1	0	1	II	II	II
河内橋	10/11														○																					○	0	1	0	1	II		
河内橋	10/29														○																						0	1	0	0	II		
浅香	10/8																																				0	0	0	0	II	II	II

I きれいな水
 II ややきれいな水
 III きたない水
 IV とてもきたない水

確認種

「II ややきれいな水」の指標生物であるコオニヤンマ、「IV とてもきたない水」の指標生物であるアメリカザリガニが確認されています。

なお、浅香、藤井では指標生物が確認されませんでした。但し、指標生物以外の生物が複数確認されましたので、有識者の判断により「II ややきれいな水」としています。

確認種数

大和川全体では、「II ややきれいな水」の指標生物 1 種類、「IV とてもきたない水」の指標生物 1 種類の合計 2 種類が確認されました。

大和川

調査結果の経年変化

地点	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
1 上吐田	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ								
2 太子橋	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ								
3 御幸大橋	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	
4 藤井	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	無
5 国豊橋	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ								
6 河内橋	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
7 浅香新取水口(※1)	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ		Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	無	無
8 遠里小野橋	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ								

Ⅰ きれいな水 Ⅱ ややきれいな水 Ⅲ きたない水 Ⅳ とてもきたない水

調査地点

これまでに **8 地点** で調査が実施されました。
御幸大橋、藤井、河内橋、浅香など多くの地点で、継続的に調査が実施されています。

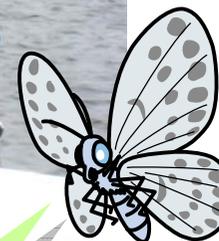
水のきれいさの経年変化

水のきれいさは、平成20年（2008年）までは「Ⅲきたない水」の地点が多かったが、平成21年（2009年）以降では、「Ⅱややきれいな水」の地点が多くなっています。

猪名川



猪名川の流域には空港もあり、関西の商工業の大切な場所となっています。外国からきたアレチウリなどの植物がたくさん茂り、他の生き物が棲みにくくなっているため、棲みやすい川にするための検討を行っています。



猪名川

平成25年の調査結果

地点数：3地点

参加者数：264人

参加団体：

- 2013猪名川の愛護セミナー（こんにやく橋）
- 2013猪名川の愛護セミナー（池田床固下流）
- 2013猪名川の愛護セミナー（桑津橋）



3地点で調査が実施され、
3地点とも「ややきれいな水」でした。

猪名川

指標生物の確認状況

地点名	調査月日	指標生物の出現状況 (見つかった指標生物の欄に○印、うち数の多い(注)2種類に●印をつける。)																													集計				判定 点数の最も高い階級	今年の判定	昨年の判定
		I										II								III					IV												
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	I	II	III	IV			
カワゲラ類	ナガレトビケラ類	ヤマトビケラ類	ヒラタカゲロウ類	ヘビトンボ	ブユ類	アマカ類	ナミウズムシ	サワガニ	ヨコエビ類	コガタシマトビケラ類	オオシマトビケラ	ヒラタドロムシ類	ゲンジボタル	コオニヤンマ	カワニナ類	ヤマトシジミ	イシマキガイ	ミズムシ	ミズカマキリ	シマイシビル	タニシ類	イソコツブムシ類	ニホンドロンコエビ	ユスリカ類	チヨウバエ類	エラミミズ	サカマキガイ	アメリカザリガニ	点数計	点数計	点数計	点数計					
こんにやく橋	7/28		○							○		●	○	○	●							○					○	○	○	1	7	1	3	II	II	II	
池田床固下流	7/28		○		○						●	●		○		○					○						○		2	6	1	1	II	II	II		
桑津橋	7/28	○			○						●	●			○						○					○		2	5	1	2	II	II	II			

I きれいな水
 II ややきれいな水
 III きたない水
 IV とてもきたない水

確認種

「II ややきれいな水」の指標生物であるオオシマトビケラ、ヒラタドロムシ類、カワニナ類、「IV とてもきたない水」の指標生物であるサカマキガイが比較的多くの地点で確認されました。

確認種数

猪名川全体では、「I きれいな水」の指標生物3種類、「II ややきれいな水」の指標生物7種類、「III きたない水」の指標生物2種類、「IV とてもきたない水」の指標生物3種類の合計15種類が確認されました。

猪名川

調査結果の経年変化

地点	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
1 小戸井堰	※1986～2001年に調査										
2 加茂井堰	※1986～2001年に調査										
3 池田床固	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II
4 久代北台井堰	※1986～2001年に調査										
5 高木井堰	※1986～2001年に調査										
6 軍行橋	※1986～2001年に調査										
7 三ヶ井井堰	※1986～2001年に調査										
8 桑津橋	II	II	II	II	II	II		II	II	II	II
9 分派点	※1986～2001年に調査										
10 中園橋	III										
11 文珠橋	II										
12 御社橋											
13 吉田橋	II										
14 銀橋上流(※1)	II	II	II	II	II	II		II	II	II	II
15 向所橋	II	II									
16 上ノ所橋	※2001年に調査										
17 上止々呂美					I						

I きれいな水
 II ややきれいな水
 III きたない水
 IV とてもきたない水

調査地点

これまでに **17地点** で調査が実施されました。
 池田床固、桑津橋、銀橋上流（こんにやく橋）で、継続的に調査が実施されています。

水のきれいさの経年変化

水のきれいさは、ほぼすべての地点で、継続的に「II ややきれいな水」となっています。

加古川



加古川は、丹波山地から瀬戸内海の播磨灘に流れる兵庫県でいちばん大きな川です。河口には、エドハゼ、ハクセンシオマネキなどの生き物の大切なすみかとなっている干潟や、魚や鳥などのかくれ場所となるヨシ原が見られます。

加古川

平成25年の調査結果

地点数：1地点

参加者数：直営で実施



**1地点で調査が実施され、
結果は「ややかきれいな水」でした。**

加古川

指標生物の確認状況

地点名	調査月日	指標生物の出現状況 (見つかった指標生物の欄に○印、うち数の多い ^(注) 2種類に●印をつける。)																												集計				判定	今年の判定	昨年の判定		
		I										II								III				IV						I	II	III	IV					
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28								29	点数計
池尻橋付近	9/27											●	●									●										0	4	2	0	II	II	

I きれいな水
 II ややきれいな水
 III きたない水
 IV とてもきたない水

確認種

「II ややきれいな水」の指標生物であるオオシマトビケラ、ヒラタドROMシ類、「IVとてもきたない水」の指標生物であるシマイシビルが確認されました。

確認種数

加古川全体では、「II ややきれいな水」の指標生物2種類、「III きたない水」の指標生物1種類の合計3種類が確認されました。

加古川

調査結果の経年変化

調査地点

これまでに**24地点**で調査が実施されました。

板波橋、滝見橋、大門橋、古川橋、大住橋、美葦川橋、池尻橋、加古川橋で、継続的に調査が実施されています。

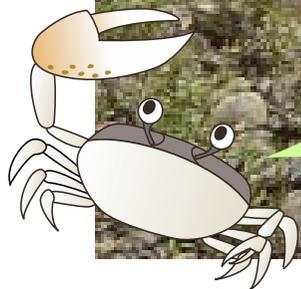
水のきれいさの経年変化

水のきれいさは、ほぼすべての地点で、継続的に「**II ややきれいな水**」となっています。

地点	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
1 金水寺橋	※1988年に調査										
2 小南橋	※1988年に調査										
3 長野橋	※1988年に調査										
4 船町橋	※1987、1988年に調査										
5 由緑橋	※1988年に調査										
6 八坂橋	※1988年に調査										
7 板波橋	II	II	II	II	II	II	II	II	II	I	
8 滝見橋	II	II	II	I	II	II					
9 大門橋	II	II	II	II	II	II					
10 古川橋	II	II	II	II	II	II					
11 東条川合流点下流	※1984年に調査										
12 西脇橋	※1988、1990年に調査										
13 大住橋	II	II	II	II	II	II	II	II	II		
14 御坂橋	※1988年に調査										
15 美葦川橋	II	II	II	II	II	II					
16 池尻橋	II	II	II	I	II	III	II	II	II		II
17 加古川橋	II	II	II	II	II	II	II	II	II		
18 大平橋	※2002年に調査										
19 米田河川敷			II	II	II		II				
20 万歳橋			II								
21 水分れ公園				I							
22 加東市野村～上田								II			
23 加古川堰堤								II			
24 福田橋										II	

I きれいな水
 II ややきれいな水
 III きたない水
 IV とてもきたない水

揖保川



揖保川は、兵庫県の西部を流れ、瀬戸内海に注いでいます。
昔は水が大変汚れていましたが、地域の人と役所の人たちが協力して水をきれいにする活動に取り組んだ結果、再びアユが棲めるきれいな川になりました。

揖保川

平成25年の調査結果

地点数：7地点

参加者数：293人

参加団体：

- 斑鳩小学校
- 誉田小学校
- 揖保小学校
- 小宅小学校区こども会
- 半田小学校
- 都多小学校
- 黒原自治会こども会



7地点で調査が実施され、「きれいな水」が3地点、「ややきれいな水」が4地点でした。

揖保川

調査結果の経年変化

調査地点

これまでに**39地点**で調査が実施されました。
 閏賀橋、清姫橋、山崎大橋、香島橋、鶯崎橋、龍野橋、王子橋、真砂橋、鹿ヶ壺、新幹線付近、千鳥ヶ浜公園等で、継続的に調査が実施されています。

水のきれいさの経年変化

水のきれいさは、「**I きれいな水**」または「**II ややきれいな水**」となっています。

地点	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
1 木坂橋	※1985、1986年に調査										
2 安積橋	※1988、1989年に調査										
3 西安積橋	※1985～1988年に調査										
4 閏賀橋	I	I	I	I	I	I					
5 清姫橋	I	I	I	I	I	I	I	I	I		
6 山崎大橋	I	I	II	I	I	II	I	I	I		
7 香島橋	I	II	II	I	I	II					
8 新香橋	※1985、1986年に調査										
9 鶯崎橋	I	I	II	II	I	II	II	I	II		
10 大屋橋	※1985～1988年に調査										
11 祇園橋	※1986年に調査										
12 龍野橋	II	I	I	I	II	II	II	II	I		
13 揖保上頭首工	※1986年に調査										
14 正条橋	※1984～1986年に調査										
15 不動橋	※1988年に調査										
16 中山橋	※1987年に調査										
17 下構橋	※1987年に調査										
18 中井橋	※1986年に調査										
19 鶯鳩橋	※1986年に調査										
20 王子橋	II	II	II	II	II	II	II	II	II		
21 浜田井堰	※1985、1986年に調査										
22 真砂橋	II	II	II	II	II	II	II		II		
23 塩野河川敷	※2002年に調査										
24 神河橋		I									
25 片吹頭首工		II	II								
26 龍野新大橋			II	II							
27 鹿ヶ壺			I	I			I	I	I	I	I
28 中井橋			II								
29 山陽新幹線 林田川橋梁(※1)				II	II		II	II	II	II	II
30 岩見構上					II						
31 阿曾井堰下流						II	II	II	II		
32 河東大橋						I					
33 千鳥ヶ浜(※2)						II	II	II	II	I	II
34 水辺の楽校(※3)							II			II	II
35 染河内川									I	I	
36 新宮リバーパーク									II		
37 林田川(姫路バイパス 付近)										II	II
38 都多小学校付近											I
39 大垣内橋上流											I

I きれいな水

II ややきれいな水

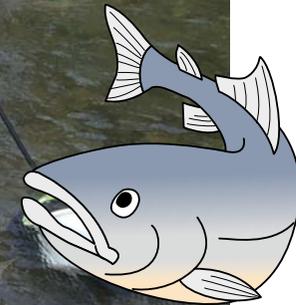
III きたない水

IV とてもきたない水

由良川



由良川は、京都府の北部を流れる川で、流域の9割を山が占めています。海に近い河口から48kmの区間は、川の水をせき止める物がないため、川と海を行き来するサケなどの魚がのぼりやすい川となっています。



由良川

平成25年の調査結果

- 地点数：6地点
参加者数：143人
参加団体：
- 南陵中学校
 - 大正公民館
 - 上林小学校
 - 東綾小学校
 - 遷喬小学校
 - 平屋小学校



多くの地点で、きれいな水が好きなカワゲラ類やヘビトンボが確認されたよ。新土師橋は、たくさんの種類が見つかったよ。



6地点で調査が実施され、「きれいな水」が5地点、「ややきれいな水」が1地点でした。

由良川

調査結果の経年変化

調査地点

これまでに **43** 地点で調査が実施されました。
新土師橋、音無瀬橋、十倉橋、大手橋、有安橋で、継続的に調査が実施されています。

水のきれいさの経年変化

水のきれいさは、地点により「Ⅱ ややきれいな水」であるが、**多くの地点で「Ⅰ きれいな水」**が続いています。

地点	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
1 丹波大橋	※1984~1987、1989~1996年に調査										
2 以久田橋	※1984~1989年に調査										
3 山下橋	Ⅰ										
4 川北橋	※1995年に調査										
5 新橋	※1995~1996年に調査										
6 高畑橋	※1985~1987、1991~1996年に調査										
7 新土師橋(※1)	※1984、1989、90、93年に調査										
8 音無瀬橋	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ
9 新音無瀬橋	※1985~1987、1991~1996年に調査										
10 新庄橋	※1989年に調査										
11 管巻橋	※1998年に調査										
12 波美橋	※1984~1992年、1994、1995に調査										
13 大雲橋	※1993年に調査										
14 西飼橋	※1995年に調査										
15 六人部橋	※1998~2000年に調査										
16 畑川親水公園	※1997年に調査										
17 猪野々橋	※1999~2000年に調査										
18 芦生	※1998年に調査										
19 河瀬橋	※1998年に調査										
20 和知町細谷	※1999年に調査										
21 山家橋下流	※1999、2000年に調査										
22 仏谷橋	※1999、2000年に調査										
23 荷稻橋	※1999~2000年に調査										
24 弓削橋	※2000年に調査										
25 十倉橋	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ						
26 相良橋	※2001、2002年に調査										
27 上端橋	※2002年に調査										
28 大手橋	Ⅱ		Ⅰ	Ⅰ		Ⅱ	Ⅱ		Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ
29 南島橋	※2002年に調査										
30 車瀬橋		Ⅰ									
31 朝根橋	Ⅰ										
32 畑口川	Ⅰ										
33 福知山市私市付近			Ⅱ								
34 南丹市美山町 上平屋付近(※2)			Ⅰ						Ⅰ		
35 故屋岡町岩村付近				Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ					
36 綾部由良川水生園					Ⅰ						
37 有安橋					Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ
38 市場大橋							Ⅱ				
39 新小貝橋								Ⅱ			
40 新橋サンダル公園								Ⅱ			
41 猿田彦公園								Ⅱ	Ⅱ		
42 石原											Ⅰ
43 縄手											Ⅱ

Ⅰ きれいな水

Ⅱ ややきれいな水

Ⅲ きたない水

Ⅳ とてもきたない水

円山川



円山川は、兵庫県を南から北に流れ、日本海に注いでいます。良好な河川環境を守るため、出石川では大きな湿地を作っています。湿地ができるのに合わせて、地元の小学校と一緒に魚の種類や数等の調査を行っています。



円山川

平成25年の調査結果

地点数：1地点
参加者数：24人
参加団体：
□ 高橋小学校



1地点で調査が実施され、
結果は「きれいな水」でした。

円山川

指標生物の確認状況

地点名	調査月日	指標生物の出現状況 (見つかった指標生物の欄に○印、うち数の多い ^(注) 2種類に●印をつける。)																												集計				判定 点数の最も高い階級	今年の判定	昨年の判定
		I								II								III								IV										
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	I	II	III			
カワゲラ類	ナガレトビケラ類	ヤマトビケラ類	ヒラタカゲロウ類	ヘビトンボ	ブユ類	アマミカ類	ナミウズムシ	サワガニ	ヨコエビ類	コガタシマトビケラ類	オオシマトビケラ	ヒラタドROMシ類	ゲンジボタル	コオニヤンマ	カワニナ類	ヤマトシジミ	イシマキガイ	ミズムシ	ミズカマキリ	シマイシビル	タニシ類	イソコツブムシ類	ニホンドロンコエビ	ユスリカ類	チヨウバエ類	エラミミズ	サカマキガイ	アメリカザリガニ	点数計	点数計	点数計	点数計	I	I	I	
弘原	9/24	●	○	●								○			●															5	3	0	0	I	I	I

I きれいな水
 II ややきれいな水
 III きたない水
 IV とてもきたない水

確認種

「I きれいな水」の指標生物であるカワゲラ類、ヒラタカゲロウ類、「II ややきれいな水」の指標生物であるカワニナ類が多く確認されました。

確認種数

円山川全体では、「I きれいな水」の指標生物 3 種類、「II ややきれいな水」の指標生物 2 種類の合計 5 種類が確認されました。

円山川

調査結果の経年変化

調査地点

これまでに **42** 地点で調査が実施されました。
府市場、引原で、継続的に調査が実施されています。

水のきれいさの経年変化

水のきれいさは、平成20年（2008年）までは「II ややきれいな水」であるが、平成22年（2010年）以降は「I きれいな水」が続いています。

地点	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
1 赤崎橋	※1998～2000年に調査										
2 上ノ郷橋	※1984～1987年に調査										
3 引野	※1985～1990年に調査										
4 かせぎ橋	※1988年に調査										
5 堀川橋	※1998、2000年に調査										
6 鳥居橋	※1985～1990年に調査										
7 円山大橋	※1985年に調査										
8 堂ヶ瀬橋	※1998～2000年に調査										
9 寺内橋	※1984～1988、1998年に調査										
10 東河橋	※1999年に調査										
11 柳原橋	※1999年に調査										
12 中村橋	※1999年に調査										
13 寺前橋	※1999年に調査										
14 馬背場橋	※1999年に調査										
15 小城橋	※2000年に調査										
16 河本川合流点	※2002年に調査										
17 堂前橋	I										
18 日野橋	I										
19 中村橋	I										
20 広瀬橋	I										
21 蓼川大橋	II										
22 大久保		III									
23 丹戸		I									
24 葛畑		II									
25 三島商店前		I									
26 出合小前		I									
27 関神社下		I									
28 河川公園		II									
29 旧関宮小		I									
30 奥村		I									
31 大谷		II									
32 下八木の川原		II									
33 八鹿町橋色		I									
34 養父市役所前の河原		II									
35 山東町矢名瀬町 字川原町			II								
36 府市場				II	II	II		I	II	I	
37 鍛冶屋				II							
38 佐田					I						
39 和田山町栄町						I					
40 出石町福住							I				
41 日高町稲葉							I				
42 弘原								I		I	I

I きれいな水

II ややきれいな水

III きたない水

IV とてもきたない水

北川



北川は、滋賀県と福井県の県境が水源で、福井県をって若狭湾に注いでいます。
国が管理する近畿の川では、最も水がきれいな川です（平成24年時点）。

北川

平成25年の調査結果

地点数：3地点

参加者数：17人

参加団体：

- 一般参加
- 雲浜まちづくり委員会



3地点で調査が実施され、「きれいな水」が2地点、「ややきれいな水」が1地点でした。

北川

指標生物の確認状況

地点名	調査月日	指標生物の出現状況 (見つかった指標生物の欄に○印、うち数の多い ^(注) 2種類に●印をつける。)																												集計				判定 点数の最も高い階級	今年の判定	昨年の判定	
		I										II								III				IV													
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	I	II	III				IV
		カワゲラ類	ナガレトビケラ類	ヤマトビケラ類	ヒラタカゲロウ類	ヘビトンボ	ブユ類	アミカ類	ナミウズムシ	サワガニ	ヨコエビ類	コガタシマトビケラ類	オオシマトビケラ	ヒラタドロムシ類	ゲンジボタル	コオニヤンマ	カワニナ類	ヤマトシジミ	イシマキガイ	ミズムシ	ミズカマキリ	シマイシビル	タニシ類	イソコツブムシ類	ニホンドロソコエビ	ユスリカ類	チヨウバエ類	エラミミズ	サカマキガイ	アメリカザリガニ	点数計	点数計	点数計	点数計			
三宅橋	7/31	○	○			○	○		○		●				●	○									○			○		5	5	1	2	I	I	I	
天徳寺橋	8/13					○				○	○				●	●									○					2	5	0	1	II	II	I	
高塚橋	7/31	○							●		○					○														3	2	0	0	I	I	I	

I きれいな水
 II ややきれいな水
 III きたない水
 IV とてもきたない水

確認種

「I きれいな水」の指標生物であるナガレトビケラ類、ブユ類、ナミウズムシ、「II きれいな水」の指標生物であるコガタシマトビケラ類、コオニヤンマ、カワニナ類、「IV とてもきたない水」の指標生物であるユスリカ類が比較的多くの地点で確認されました。

確認種数

北川全体では、「I きれいな水」の指標生物 6 種類、「II ややきれいな水」の指標生物 3 種類、「III きたない水」の指標生物 1 種類、「IV とてもきたない水」の指標生物 2 種類の合計 12 種類が確認されました。

北川

調査結果の経年変化

地点	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
1 新道	※1984年に調査										
2 天満橋・三宅橋	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
3 天徳寺橋	I	II	I	I	I	II	I	I	I	I	II
4 神谷橋	※1997年に調査										
5 高塚橋	I	I	II	I	I	II	II	II	I	I	I

I きれいな水 II ややきれいな水 III きたない水 IV とてもきたない水

調査地点

これまでに **5 地点** で調査が実施されました。

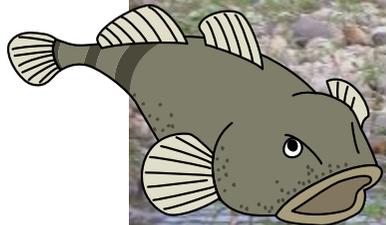
天満橋・三宅橋、天徳寺橋、高塚橋で、継続的に調査が実施されています。

水のきれいさの経年変化

水のきれいさは、「I きれいな水」、「II ややきれいな水」の間を推移しています。

三宅橋では10年間連続して「I きれいな水」でした。

九頭竜川



九頭竜川は、福井平野をって日本海に注いでいます。
水の中で棲む生き物たちを守るため、魚たちが大きな川と小さな川を自由に行き来できる川づくりなどに取り組んでいます。

九頭竜川

平成25年の調査結果

- 地点数：3地点
参加者数：79人
参加団体：
- 一般参加
 - 松岡中学校
 - 成和中学校
 - 永平寺中学校



3地点で調査が実施され、「きれいな水」が2地点、「ややきれいな水」が1地点でした。

九頭竜川

指標生物の確認状況

地点名	調査月日	指標生物の出現状況 (見つかった指標生物の欄に○印、うち数の多い(注)2種類に●印をつける。)																												集計				判定	今年の判定	昨年の判定
		I										II								III						IV				I	II	III	IV			
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28							
鳴鹿橋上流	7/22			○			○		○		○		○	○				●	○			○	○	○			○	○	●	3	4	5	5	III	III	I
福井大橋下流	7/22			○	●		○				●		○	●							○		○				○	○	○	4	5	2	2	II	II	I
天池河川公園前	7/22			○										●													○	●	1	2	0	3	IV	IV	I	

I きれいな水 II ややきれいな水 III きたない水 IV とてもきたない水

確認種

「I きれいな水」の指標生物であるヤマトビケラ類、ブユ類、「II きれいな水」の指標生物であるコガタシマトビケラ類、ヒラタドロムシ類、コオニヤンマ、「III きたない水」の指標生物であるイソコツブムシ、「IV とてもきたない水」の指標生物であるエラミミズ、サカマキガイ、アメリカザリガニが比較的多くの地点で確認されました。

確認種数

北川全体では、「I きれいな水」の指標生物 4 種類、「II ややきれいな水」の指標生物 4 種類、「III きたない水」の指標生物 5 種類、「IV とてもきたない水」の指標生物 4 種類の合計 17 種類が確認されました。

九頭竜川

調査結果の経年変化

地点	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
1 鳴鹿堰下流	※1984～1992年に調査										
2 鳴鹿橋上流	I	I	I	I	I	II	I	II	I	I	III
3 福井大橋(※1)	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	II
4 中角橋(※2)	I	I	I		II	I	I	I	I	I	IV
5 江端川合流点											
6 朝宮橋	※1985～1990年、1992～1994年に調査										
7 布施田橋	※1985～1988年に調査										

I きれいな水 II ややきれいな水 III きたない水 IV とてもきたない水

調査地点

これまでに42地点で調査が実施されました。
府市場、引原で、継続的に調査が実施されています。

水のきれいさの経年変化

水のきれいさは、概ね「I きれいな水」となっていますが、今年度は「II ややきれいな水」、「III きたない水」、「IV とてもきたない水」でした。これは、調査実施日に川の水が増水していたため、安全に配慮し緩流域で調査を実施したのが原因と考えられます。

総合学習における活用

総合学習に求められる課題

総合的な学習の時間（総合学習）では、身の回りにおける様々な問題状況について、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決していくことが期待されています。

以上の趣旨に基づき、総合学習では次の5つの学習効果が求められています。

- 探求的な学習
- 協同的な学習
- 体験活動の重視
- 言語活動の充実
- 各教科等との関連



総合学習における活用

水生生物調査の総合学習における活用

- 探求的な学習** → 本調査では、「その川の水のきれいさを調べる」という明確な課題がに対して、どのような生き物がいるかという情報を収集し、整理・分析し、まとめ・表現することができます。
課題の設定、情報の収集、
整理・分析、まとめ・表現
- 協同的な学習** → 本調査には、小中学校、地域住民、有識者や事務所職員など多くの方が参画しています。同じ課題に向けて、協同的に学ぶことができます。
多様な情報を活用して協同的に学ぶ
異なる視点から考え協同的に学ぶ、など
- 体験活動の重視** → 本調査は、川に入って調査を行います。水の中の生き物だけでなく、川の環境(流れの速さや、川底の様子)などを体験的に学習することができます。また、30年間続いている調査であり、子どもたちの参加によって得られた結果は、水のきれいさを知るための情報として、将来にわたって活用され、社会的貢献の高い活動です。
自然に関わる体験活動
ボランティア活動、など
- 言語活動の充実** → 本調査では、指導者への質問を行ったり、調査結果について発表したり、感想を述べたりすることで、表現し、伝達する能力を伸ばすことができます。
表現する
伝達する、など
- 各教科等との関連** → 本調査は、理科(生き物、流れる水のはたらき、など)、社会(水のきれいさ)、国語など、様々な教科に横断的に関連させることができます。
理科、社会、国語など